



## Foresight : Eye-NetとSoftbank Corp.、日本におけるコネクテッドモビリティの技術実証フェーズを成功裏に完了

POCが成功裏に完了した場合、両当事者は商業的実証のため、SoftBankの主要ビジネスパートナーと販売活動を開始する

ネス・シオナ、イスラエル - 2024年3月22日 - 車載ビジョンソリューションの革新的企業であるForesight Autonomous Holdings Ltd. (NasdaqおよびTASE:FRSX) は、本日、その完全子会社であることを発表しました。Eye-Net Mobile Ltd. (「Eye-Net」) は、本日、SoftBank Corp. (Tokyo: 9434) (「SoftBank」) がEye-Netの技術実証に成功した後、Eye-Netのビジネスパートナーと協力して、Eye-Net製品の日本における商業実証活動を開始することを発表しました。

2023年11月6日に発表した通り、SoftBankとEye-Netは、有償の技術実証 (POC) プロジェクトを開始する複数フェーズ契約を締結しました。Eye-Net Protect製品は、SoftBankが事前に定義したすべての重要業績評価指標を満たした後、技術的なPOCが成功したことが確認されました。

POC期間中、Eye-Netの位置情報サービスは、SoftBankのマルチアクセスエッジコンピューティング (MEC) インフラ上に展開されました。この展開は、閉鎖されたエリアやオープンロードなど、さまざまな環境での広範なテストの後に行われます。テストでは、システム性能と長期進化 (LTE) と5Gセルラーネットワークの両方との完全な互換性が確認され、コネクテッドモビリティアプリケーションへの道が開かれました。

POCが成功裏に終了した結果、両当事者は、日本市場におけるEye-Netの衝突防止改善ソリューションの商業的実証を進めるため、SoftBankの主要ビジネスパートナーとの営業活動を開始します。

「私たちは、SoftBankが技術実証段階を成功裏に完了し、Eye-Netの技術がLTEと5Gの両方のセルラーネットワークに適合することを確認したことに感激しています。このマイルストーンは、日本におけるEye-Netの製品の商業的実証のためのSoftBankとの協力的な取り組みの開始を意味します。」と、Eye-Net MobileのCEOであるDror Elbazは述べています。「Eye-Netは、新しい社会的交通安全アプローチの導入に向けた先見の明の



ある道筋でSoftBankと協力できることに感謝しています。私たちのコラボレーションは、何百万人ものユーザーを見通し外の衝突事故から守り、より安全な日本のモバイル社会に貢献できる事故予測・防止ソリューションを提供することを目的としています。」とElbaz氏は締めくくりました。

Eye-Netの詳細については、[www.eyenet-mobile.com](http://www.eyenet-mobile.com)、または当社のLinkedInページ「[Eye-Net Mobile](#)」、Twitter「[@EyeNetMobile1](#)」、Instagramチャンネル「[Eyenetmobile1](#)」（これらの内容は本プレスリリースには含まれていません）をフォローしてください。

### **Foresightについて**

Foresight Autonomous Holdings Ltd. (NasdaqおよびTASE:FRSX) は、スマートマルチセクタールビジョンソフトウェアソリューションとセルラーベースのアプリケーションを開発するテクノロジー企業です。当社の完全子会社であるForesight Automotive Ltd.、Foresight Changzhou Automotive Ltd.およびEye-Net Mobile Ltd.を通じて、「見通し内」ビジョンシステムと「見通し外」事故防止ソリューションの両方を開発しています。

Foresightのビジョンソリューションには、自動キャリブレーションと高密度3次元（3D）点群モジュールが含まれ、自動車、防衛、自律走行車、重工業機器などのさまざまな市場に適用できます。Eye-Netのセルラーベースのソリューションスイートは、最先端のAI技術と高度な分析を取り入れることにより、都市モビリティ環境におけるすべての道路利用者の交通安全と状況認識を強化するために、リアルタイムの衝突前警告を提供します。

Foresightおよびその完全子会社であるForesight [www.foresightauto.com](http://www.foresightauto.com)、Twitterで[@ForesightAuto1](#) [Foresight Automotive](#)に参加してください。

Automotiveの詳細については、  
をフォローするか、LinkedInで

### 将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法およびその他の連邦証券法の「セーフハーバー」条項の意味における将来見通しに関する記述が含まれています。「期待」、「予想」、「意図」、「計画」、「確信」、「求める」、「推定」などの言葉



や類似の表現、またはそのような言葉のバリエーションは、将来の見通しに関する記述を識別することを意図しています。例えば、Foresightは、本プレスリリースにおいて、SoftBankとそのビジネスパートナーとの協業が、Eye-Netの製品の日本における商業的実証を開始する見込みであること、この協業がEye-Netの技術によるコネクテッドモバイルアプリケーションへの道を開く可能性があること、POCの当事者がSoftBankの主要ビジネスパートナーとの販売活動を開始すること、および新しい社会的交通安全アプローチの導入に向けた当社のビジョナリーパスについて説明する際に、将来の見通しに関する記述を使用しています。かかる記述は将来の事象を扱うものであり、Foresightの現在の予想に基づくものであるため、様々なリスクや不確実性を内包するものであり、Foresightの実際の結果、業績または成果は、本プレスリリースに記載された、または本プレスリリースに記載された記述に暗示されたものとは大きく異なる可能性があります。

本プレスリリースに含まれる、または暗示される将来の見通しに関する記述は、2023年3月30日に米国証券取引委員会（「SEC」）に提出されたForesightの年次報告書（Form 20-F）の「リスク要因」の見出し、およびその後のSECへの提出書類に記載されているものを含め、その他のリスクおよび不確実性の影響を受けます。法律で義務付けられている場合を除き、Foresightは、本書の日付後の事象や状況を反映したり、予期せぬ事象の発生を反映したりするために、これらの将来見通しに関する記述の修正を公表する義務を負うものではありません。ウェブサイトへの参照およびリンクは便宜上提供されたものであり、かかるウェブサイトに含まれる情報は参照により本プレスリリースに組み込まれるものではありません。Foresightは、第三者のウェブサイトのコンテンツについて責任を負いません。

投資家向けお問い合わせ先：

Michal Efraty

CEO

HK Ventures

[michal@hk-venture.com](mailto:michal@hk-venture.com)